

第165回 臨時国会始まる



九月二十六日に発足した安倍新内閣の下、第一六五回臨時国会が八十一日の会期で開幕しました。今国会では教育基本法の改正案や国民投票法案など、前国会で積み残されていた法案が審議される予定です。また御法川議員の所属する厚生労働委員会並びに農林水産

厚生労働委員会関係

少子高齢化時代に対応する抜本的な対策のため、年金制度や介護保険制度の改正に引き続き、前国会では医療制度改革のための法案が審議されました。改正医療法では、患者等への医療に関する情報提供の推進、医療計画制度の見直し等を通じた医療機能の分化・連携、更には秋田で最も懸案となっている地域や診療科による医師不足問題への対応を柱として、質の高い医療サービスが適切に提供される体制を確立することを目指しています。



委員会でも、先の国会では医療制度改革関連法や農政改革関連法など私たちの生活に密着した重要法案が成立し、今後はこれらに基づいて着実な政策を実施するための具体的な予算措置等について議論して行かなければなりません。

農林水産委員会関係

日本農業に対する外圧が強まる一方で、農業従事者の減少・高齢化によって農業の生産構造の脆弱化が進む中、農業の構造改革を進めるために、一定規模以上の農業の担い手に対して経営安定化を図るための所得補償制度が導入されました。今後は、この制度をより確実なものとして行くために、必要な予算の確保が最重要課題となります。



委員会視察

農林水産委員会では、地域の農場や食品加工工場等を視察すると共に、現地公聴会などを行っています。

